ROTARY CLUB OF CHINO WEEKLY

Rotary CHINO

世界へのプレゼントになろう
2015～2016年度国際ロータリーテーマ

茅野ロータリークラブ
創立1981. 1. 26

茅野ロータリークラブ活動指針
「みつめ直そう！ひとりひとりがロータリー」

2015 − 2016　会長 矢﨑 敏臣　幹事 加藤 宏治

Vol.30 1653 2016.3.2

会長挨拶

3月はロータリーのテーマ「水と衛生月間」ですので、今回は水に関する話をさせて頂きます。世界的な活動として「TAP PROJECT」をご存知でしょうか。

「TAP」というのは蛇口。この「TAP」は水道水を指しています。飲食店などで私たちがただでもらえる水。飲むときに100円の募金を呼びかけられます。そして、集まったお金は世界の子供たちに安全な水を提供するために使われるというプロジェクトです。このプロジェクトは、2007年ニューヨークで始まって、既にアメリカ46の州、カナダ、ニュージランド。東京にも広まってきました。そして2009年夏横浜で開かれた時に行われた、日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンの講演内容を紹介したいと思います。

「今現在、地球上で8億6000万人の人が安全な水が飲めないんです。半数は子供です。5歳未満の子供たちの5人に1人は、安全な水が手に入りません。汚れた水で亡くなる子供たちは、1日4000人もいるんです。

今、水の状況はどうなっているのか。改めて考えてみたいと思います。いうまでもなく、人間は水がなければ生きていけません。私たちの体も60%は水分です。この地球の表面も3分の2は水で覆われています。でも97%は海水です。淡水はわずか3%。しかもそのほとんどが氷山の中に存在しているんです。結局、人間が直接使える水の量というのは、だいたい0.01%なんだそうです。その70%は農業用水。工業用水は20%。生活用水は10%です。

そもそも人間が生きていくために、一日どれくらい水が必要かというと、2リットルが必要です。でも、発展途上国の人々はそのわずかな水が手に入らないんです。じゃあ先進国はどうなっているのか。日本を例に出してみると、私たちが一日使う平均水の量は242リットルです。東京の場合は、370リットルです。その差は明らかです。1人当たり使う水の量が増えたというのですが、それは先進国の中で増えているんです。でも、恵まれているはずの日本はなぜか水輸入ナンバーワンと言われているんです。それは飲み水ではございません。いわゆるバーチャル・ウォーターです。目に見えない水のことです。

これは食べ物と直接関係しているんです。日本の食糧自給率は41%、つまり60%近くは食べ物を外国から輸入しているんです。わずかな食べ物を作るために沢山の水が必要です。例えば、1キロのトウモロコシを作るためには、1800リットルの水が必要です。牛肉1キロ作るだけで、10万リットルの水が必要です。沢山の食べ物を輸入するというのは、沢山の水を輸入するというのと同じなんです。

20世紀は火の世紀と言われていました。人間が石油をはじめ、燃料を手に入れ、その恵みを受け発展してきました。でも、繰り返しそのために争いが起き、沢山の人たちも犠牲になりました。21世紀は水の世紀と言われています。つまり、これから一番不足してくる資源は水ではないかと言われています。きっとそのために争いが起き、沢山の人たちが犠牲になるのではないかと言われているんです。無ければ生きていけない水。節水するのは勿論のこと、身近な水源を使って生活を組み立てることも大切です。食糧の自給率を上げる様努力することが、先進国の人たちの責任ではないかと思います。」

以上を紹介させて頂き、会長挨拶としたいと思います。

幹事報告　※別紙幹事報告書

米山奨学生へ奨学金の贈呈

次年度理事・役員の任命

卓話

「超高齢化社会について」

池田輝明　会員

これからの高齢者人口や介護、介護施設の現状について詳しくお話しいただきました。

ニコニコBOX

人数 29人
金額 42,000円

◎矢﨑敏臣会長　3月となりました。いよいよ記念式典が近づいてきました。よろしくお願いします。
◎朝倉秀尚会員　お花いただきました。
◎池田輝明会員　本日卓話よろしくお願いします。
◎真道弘雄会員　3月17日74歳になります。父親より10年長生きできました。
◎長井和彦会員　83歳になりました。孫たちが来てくれました。嬉しかったです。

出席報告

会員数　57名
出　席　49名
出席率　86 %